

事務事業名		戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業		所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
総合計画体系的	政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》		所属G	土地改良G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(33)農業の振興		担当者名	高橋 健	電話番号	0854-40-1053 (内線) 3711
	目的対象	市内の農業従事者	意図	A)消費者に信頼される安心・安全な農畜産物を生産する。B)農家所得の向上。		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 2 土地改良事業 項 目 中事業 中事業名 0 5 5 5 0 8 戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業
	基本事業名	(096)生産基盤の整備・保全		目的対象	農業従事者	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (21年度～)
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
戸別所得補償制度の本格実施に伴い、麦、大豆など戦略作物等の生産拡大の支障となっている排水不良や、施設の老朽化等による用水の不足等に対応するため、暗渠排水、水路の緊急補修、畑地の土層改良等のきめ細やかな整備を実施するものである。	
①農業用排水施設 ②暗渠排水 ③土層改良④区画整理 ⑤農用地の保全事業実施主体は、雲南市。補助率は、国55%、県15%、市5%、地元負担は25%	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) ・8地区の基盤整備工事(農業用排水施設、暗きょ排水、土層改良、区画整理、農用地の保全ほか)	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 23年度単年度の制度であったが、新しく農業基盤整備促進事業として、同様の国庫補助事業が創設された。 平成25年度からは、この事業について事業計画の策定から工事完了までを行うこととする。			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	事業費	千円		21,700	14,600	10,000
イ	実施地区数	地区		12	8	6
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	①農地 ②農業用施設	ア	農地面積	ha	5,196	5,348	5,083	5,082
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)		
継続的に営農できるようにする。	ア	耕作放棄地面積	ha	918.0	822.0	789.0	855.0	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
工事費、測量及び試験費、用地費及び補償費、船舶費及び機械器具費 (繰越額14,600千円)	財源内訳	国庫支出金	千円		11,935	8,030	
		県支出金	千円		3,255	2,190	5,000
		地方債	千円				
		その他	千円		5,425	3,650	2,500
		一般財源	千円		1,085	730	2,500
		事業費計(A)	千円		21,700	14,600	10,000
人件費	正規職員従事人数	人		2	2		
	延べ業務時間	時間		300	300		
	人件費計(B)	千円		1,183	1,175		
	トータルコスト(A)+(B)	千円		22,883	15,775		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
21年度は単年度の国庫補助事業として実施された。22年度にはその後継事業として県単農地有効利用支援整備事業として島根県で実施。23年度は、単年度ながら新規国庫補助事業として創設された。24年度以降も、後継事業を創設された。	特になし	農業者から、事業要件があれば、実施したいという意向を聞く。

事務事業名	戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	農家及び受益者の要望による事業であるため、要望がない限り実施することはできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	農地、農業用施設の維持が困難となり、耕作放棄地が進行する。
<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	<input type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		農地・水環境保全対策事業、市単土地改良事業
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		事業費については、申請前に現地の状況や見積書等の仕様や工法を精査し、適正に算出しているため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	補助申請から工事発注・現場管理など小人数の職員で対応しているため、これ以上の削減余地はない。		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		雲南市全体の農地、農業用施設が対象であり、公平に事業実施がされている。
	① 1次評価者としての評価結果			② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国庫補助事業であったため、採択要件等の制限により実施できない箇所もあった。県補助事業、市単独事業と棲み分けを図り、農業の効率化を図りたい。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>H24年度繰越事業により本事業は終了したが、平成25年度より農業基盤整備促進事業が新設され同様の事業が継続されることとなった。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			